

行政視察報告書

令和5年2月6日

長浜市議会議員 松本長治 様

長浜市議会議員 村山さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 つなぐ長浜行政視察
2. 視察期間 令和5年1月31日(火)～2月1日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①千葉県取手市 ・起業支援ネットワークについて
 - ②千葉県松戸市 ・子育て支援、親子すこやかセンター(子育て世代包括支援センター)について

4. 調査内容感想等

・視察の目的：取手市については、『起業家タウン構想』という名の元官民協働で街を元気にする取り組みを行っている。松戸市は『共働きが子育てしやすい街』等で受賞しており、子育てに関するさまざまな施策がある。

それぞれの自治体の実態を視察し、長浜市で活かせることを学ばせていただく。

・視察の内容：取手駅前の9階建てのビルの5階にレンタルオフィス『Match-hako』がある。(6階以上は空きフロア) レンタルオフィスの登録は約190社で登記や郵送物の受け取りもできる。カードをかざすことで8時から23時まで出入り自由。

他にも創業スクールや、ビジネスプランコンテストも行っている。

オフィスの貸借料は利用者の利用料で賄えているとのこと。

市が立ち上げた一般社団法人の代表理事に就いておられる吉田氏は京都在住で何度か来浜しているとのことで長浜の市街地の様子も把握しておられた。

資料を基にお話を聞き、実際に各ブースを見学させていただいた。

2日目の松戸市は議会事務局の方々始め、担当課の課長など大変多くの方にご対応いただいた。松戸市の母子保健と児童福祉について学ばせていただいた。

特に虐待防止に関しては相談・支援の拠点として市内3ヶ所に『親子すこやかセンター』を設置し、全施設に保健師・社会福祉士・助産師が配置されている。

妊婦の全数面接によりハイリスクな妊婦を見逃さず継続的に支援し、乳幼児健診も同じ課が担当し（平成25年に課の再編成が行われている）、支援が途切れないようにしている。

各センターには非正規のケースワーカーが4～6名おられ、それぞれ数十件の案件を担当されている。まさに親子向けの地域包括センターが機能している。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

取手市に関しては、吉田氏が長浜市ならどんなことが可能かとの提案をいただいた。そのことも踏まえ、市民が起業しやすい環境を整え、なおかつ空きスペースを有効活用していけるよう担当課と情報共有し反映させたい。

できるなら一度長浜市に講演に来ていただけたらと思う。

松戸市に関しては、乳児健診は医師の検診は親子が地域の医院での受診。1歳8ヶ月検診は午前に行われていると聞き、長浜市でも可能性があるなら取り入れていただく方法を探りたい。また、途切れない支援、リスクのある妊婦を見逃さないために専門職の増員や仕組みを作れないか動きたい。